

形 式：皮膚がん

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	悪性黒色腫	
	タイプ		
タイトル情報	論文の英語タイトル	The relationship between biopsy technique and uncertainty in the histopathologic diagnosis of melanoma.	
	論文の日本語タイトル		
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称	MMCQ7-1	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 (IV)	
	Pubmed ID	10673457	
	医中誌 ID		
	雑誌名	Dermatol Online J.	
	雑誌 ID		
	巻	5	
	号	2	
	ページ	4	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
	発行年月	1999	
著者情報		氏名	所属機関
	筆頭著者	Pariser RJ	Eastern Virginia Medical School
	その他著者 1	Divers A	同上
	その他著者 2	Nassar A	同上
	その他著者 3		
	その他著者 4		
	その他著者 5		
	その他著者 6		
	その他著者 7		
	その他著者 8		
	その他著者 9		
	その他著者 10		

一次研究の 8 項目	目的	生検の種類と病理組織検査の不確実性との関係进行评估する	
	研究デザイン	症例対照研究	
	セッティング	私的皮膚病理検査機関	
	対象者	1988 から 1997 までの 525 検体	
	対象者情報（国籍）	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず （ 2 ）	
	対象者情報（性別）	1.男性 2.女性 3.男女区別せず （ 3 ）	
	対象者情報（年齢）	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず （ 22 ）	
	介入（要因曝露）	生検のタイプとして以下の 6 種類：excisional、punch、shave、deep shave、curettage、unknown	
	エンドポイント（アウトカム）	エンドポイント	区分
	1	病理組織診断の程度	1.主要 2.副次 3.その他（ 1 ）
	2		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	3		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	4		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	5		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	6		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	7		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	8		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	9		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	10		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	主な結果	病理組織検査で「悪性黒色腫といってよいだろうが、疑問点が残る」と判定された割合は、excisional 9%、deep shave 11%、shave21%、punch23%であった。	
	結論	色素性病変では punch biopsy は避けるべきであろう。Shave でも十分深ければ excisional とほぼ同等に評価できる。	
	備考		
レビューワーコメント	レビューワー氏名	古賀弘志	
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類（ IV ）	